

鹿病防第28号
平成21年9月7日

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成21年度 技術情報第14号（普通期水稻トビイロウンカ）について（送付）

トビイロウンカの今後の防除対策について、下記のとおりとりまとめましたので送付します。

平成21年度 技術情報第14号

1 対象病害虫 トビイロウンカ

2 対象作物 普通期水稻

3 発生状況

- (1) 8月31日～9月3日の巡回調査では発生ほ場率は90%（平年19%、前年4%）で、依然として短翅型雌成虫や幼虫の発生密度の高いほ場が確認され、今後、坪枯れ等の被害の拡大が懸念される。
- (2) 向こう1か月の天候予報では、九州南部の気温は平年並みか高いと予想されており、本虫の増殖に好適な条件が見込まれる。

6 防除対策及び防除上注意すべき事項

- (1) 7月1日の飛来虫に由来する第3世代幼虫の防除時期は9月9～14日頃と予測される（別紙、発育経過予測図を参照）。発育状況は地域やほ場によって差があるので、防除にあたってはほ場毎に確認する。
- (2) これまで防除を行ったほ場でも、発生密度の高いほ場が認められているので、ほ場の中まで入って発生状況を確認し、発生を認めた場合は早急に防除する。
- (3) 本虫は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分届くように散布する。
- (4) 粉剤や液剤による防除が不可能な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は湛水状態（3cm程度）で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないように注意する。
- (5) 農薬の使用基準を遵守し、薬剤散布にあたっては飛散に十分注意して行う。

表1 トビイロウンカの発生状況 調査日：8月31日～9月3日

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	平成21年	平年	
南 薩	90	23	10
北薩平坦	92	24	24
北薩山間	82	17	22
大 隅	100	8	6
県 計	90	19	62

※ 平年値は1999年～2008年までの平均

※ 巡回調査地点

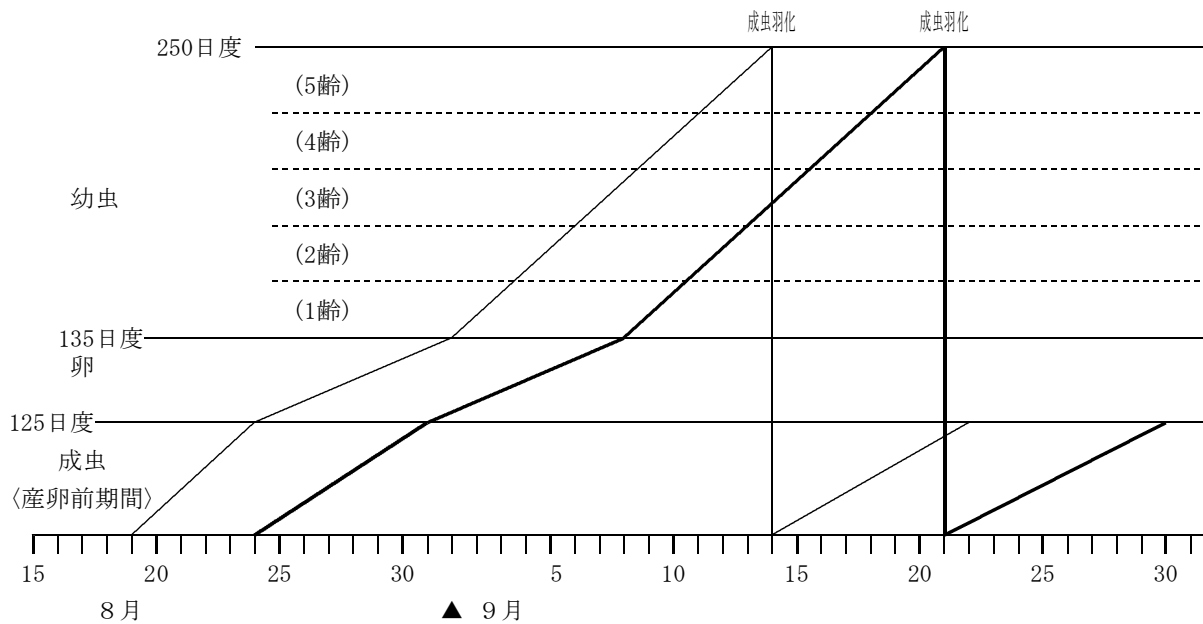
南 薩： 南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目
日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦： 鹿児島市東佐多町，蒲生町楠田，始良町三拾町
霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町
出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田
薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間： さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手
伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・大田・山野，湧水町北方

大 隅： 曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里

図1 トビイロウンカの有効積算温度による発育経過予測図



(注) 7月1日飛来：太線（主飛来），6月23日飛来：細線
気温の低い地域では予測より2～4日程度遅くなる。
平成21年9月3日作成，鹿児島地方気象台(鹿児島)の気温データを使用